

令和4年度地域と市長のまちづくり懇談会 福岡校区

開催年度回次	令和4年度第10回	開催月日	7月24日	開催校区	福岡校区	開催場所	福岡校区市民館
議 題				市の回答			
<p>1. ごみステーションの維持管理について</p> <p>1年ごとに自治会員の家を移動しながらごみステーションを維持していますが、場所の確保が難しい状況です。また、ごみ出しルールを知らない人や無視する人がおり、対応に苦慮しているところです。自治会としては、組長会や回覧などで定期的に啓発活動を実施し、また、ルール違反の多い集合住宅へ啓発チラシとクリーンカレンダーを不定期で配布しています。</p> <p>市として、自治会未加入者への啓発、各戸訪問ごみ回収、ごみステーション用地の借り上げ整備、外国人や他地域からの転入者対応などについて、計画している項目はありますか。</p>				<p>収集業務課</p> <p>自治会未加入者への啓発につきましては、「家庭ごみガイドブック」や「クリーンカレンダー」の配布のほか、「広報とよはし」やホームページ等により周知を行っておりますが、現にお困りのごみステーションがあれば自治会と連携して実情に応じて対応させていただきます。</p> <p>各戸訪問ごみ回収につきましては、各戸収集は一つの方法ですが、市内約16万世帯の各戸収集は作業員やごみ収集車増が必要となり効率的な収集が難しいため、現行の組単位や概ね15世帯から30世帯からなるごみステーション設置による回収方法が最適であると考えております。そのため計画は今のところありません。</p> <p>ごみステーション用地の借り上げ整備につきましては、従来から各自治会及び集合住宅の管理会社をお願いしておりますので、本市が自らごみステーション用地を借り上げて整備する計画はございません。</p> <p>外国人の方に対しましては、外国語版『家庭ごみガイドブック』の配布やスマートフォンアプリ「さんあ〜る」外国語版の活用を周知しておりますが、より理解を深めていただくよう、多文化共生・国際課と連携し同課のフェイスブックを活用して、ごみの出し方の周知の働きかけを進めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、他地域からの転入者対応につきましては、転入時に市民課及び窓口センターにて「クリーンカレンダー」、「家庭ごみガイドブック」、「指定ごみ袋セット」を配付しております。</p> <p>引き続き、ごみの分別と持ち出しマナーを守っていただくよう、啓発に努めてまいります。</p>			

開催年度回次	令和4年度第10回	開催月日	7月24日	開催校区	福岡校区	開催場所	福岡校区市民館
議 題				市の回答			
<p>2. 道路の安全対策について</p> <p>渥美線小池駅付近において、国道259号線に地下道が設置されているにもかかわらず、多くの人が国道を横断しており大変危険です。中央分離帯の植え込みも人が通れる程度の間隔ができてしまっています。</p> <p>人が越えられない程度の金属柵を設けることはできないでしょうか。または、南北の信号と連動した新しい信号の設置はできないでしょうか。</p>				<p>道路建設課</p> <p>豊橋市内では、国道259号のような4車線道路を横断中の交通事故が度々発生していることから、歩行者が歩道から車道に出られないようにしたほか、中央分離帯の開口部を閉じる等の対策を行っている箇所がございます。</p> <p>本件につきましても現地において国道を横断している状況について確認できましたので、道路管理者である愛知県に対し、対策をとってもらよう、働きかけを行いました。</p> <p>愛知県からは、中央分離帯の防草対策と共に、乱横断防止対策を進めていくとの回答をいただいております。</p> <p>なお、信号につきましては、豊橋警察署に確認したところ、南北の交差点に信号が既に設置されており、さらに現地には地下道が設置されていることから、設置は困難とのことでした。</p>			

開催年度回次	令和4年度第10回	開催月日	7月24日	開催校区	福岡校区	開催場所	福岡校区市民館
議 題				市の回答			
<p>3. 豊橋市の今後について</p> <p>市の人口を維持するためには、若い人が豊橋に来て、市内や近郊で働き、子育てをしていただく必要があります。魅力のある住みよいまちづくりのために市政で現在取り組んでいること、今後取り組んでいくことをおしえてください。</p>				<p>政策企画課</p> <p>「第6次豊橋市総合計画」において、人口減少対策を重点的・戦略的に進めるため「まちづくり戦略」を定め、将来に向かって「人口減少に歯止め」をかけるため、活力ある「しごとづくり」、選ばれ集う「ひとの流れづくり」、笑顔あふれる「子育て・教育環境づくり」、持続可能で暮らしやすい「都市空間づくり」という4つの分野で、さまざまな施策を実施しています。</p> <p>「子育て・教育環境づくり」の分野では、本市の将来のまちづくりに携わる人を育んでいくために、令和3年度に「人づくりNo.1をめざすまちプロジェクト」を立ち上げ、今年度は、所得制限のない第2子保育料の無償化と副食費軽減をはじめ、保育士の処遇改善や「のびるん de スクール」の全小学校への拡大などを実施しています。子育てや教育に手厚いまちとして、多くの人から住みたい、暮らし続けたい、将来帰ってきたいと思ってもらえるような魅力のあるまちづくりを進めてまいります。</p> <p>また、「しごとづくり」に関連して、本市の強みである農業のポテンシャルを生かした「とよはしフードカルチャー」の創造に向け、「食と農のまち推進プロジェクト」において、飲食店等と農家のマッチングによる地産地消の推進や、地域に適したスタートアップの創出などに取り組んでいます。さらに、「ひとの流れづくり」の分野でも、「ナショナルサイクルルートをいかした体験型観光推進プロジェクト」や豊橋・新城スマートIC(仮称)を活用した「北部地域活性化プロジェクト」など、多くの方に本市の魅力を感じていただけるよう取り組みを進めてまいります。</p>			